１つの活動から　様々な保育活動への展開　　【秋みつけ】

事例―６　豊かな言葉を身に付けよう　＜秋みつけ＞

幼児がどんなことを感じたり、気付いたりしたのかという心や気持ちの動きを読み取り、幼児と共に様々な保育の展開を工夫していくことが教師に求められる。

制作活動をする

葉っぱの形がでてきた！

フロッタージュ

身体表現をする

どんな形のドングリ？

木から落ちてきたドングリ

絵画表現をする

〇経験したことを描く

（ドングリ探し・柿の収穫・芋掘り・落ち葉拾い）など

秋みつけをする

お店屋さんごっこをする

△友だちと意見を出し合い遊びを決め、これまでの経験をもとに考えを出し合う。

言葉遊びをする

言葉探しをしよう

かるたみたい

〇言葉カードを書く

しぶがき　しぶい　ほしがき　ほしい

▲感じたこと、考えたことを言葉や文字で表そうとしている

★自然物を種類別に幼児と共に分け使いやすいように置いておく

秋の自然物を使って遊ぶ

（木の実・木の葉・芋のつる・木の枝など）

お客さんきてくれるかな

ドングリ迷路はうまくいくかな

段ボールを斜めにして、坂道にしたらいいね

▲多くの友だちと楽しさを共有する

〇遊びの説明をする

▲自分たちのつくったもので遊んでもらう満足感を味わう

▲友だちの姿に刺激を受け、新たな考えがひらめく